

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 大阪都心地域において、鉄道の交通結節点として大阪の北の玄関口たる大阪駅、水の都・大阪のシンボルである中之島、大阪のメインストリートである御堂筋沿道を中心とし、既存の都市基盤の蓄積等を生かしつつ、風格ある国際的な中枢都市機能集積地を形成 特に、大阪駅周辺においては、既存建築物の更新等に加え、梅田貨物駅を早急に移転し、その跡地の土地利用転換により先導的な多機能拠点を、中之島においては、堂島川・土佐堀川に囲まれた地域特性を生かしつつ京阪中之島線の整備によるアクセスの向上等と併せ、低未利用地の土地利用転換などによる業務・文化・交流中枢拠点を、御堂筋周辺においては、老朽化した建築物の更新等による業務・商業等の機能を高度化した集積地を形成</p>	<p>(大阪駅周辺) ○国際的な中枢業務機能、学術・研究機能、商業機能、情報発信機能、居住機能等の都市機能のより一層集積した複合市街地を形成 ○JR・阪急・阪神・地下鉄の交通結節点である大阪駅周辺等において、歩行者空間の充実や、駅前広場の確保等を図り、交通拠点機能を強化</p> <p>(中之島) ○就業者や来訪者にとって憩いやゆとりある空間等の形成を図りつつ、中枢業務機能を充実また、併せて、商業・宿泊機能等を導入</p> <p>(御堂筋周辺) ○御堂筋沿道においては、内外からの企業集積とIT等を活用した新しいビジネス創出に向けた業務・商業機能の高度化</p>	<p>○大阪駅周辺地区の交通拠点性、南北・東西方向の交通機能の強化を図るため、幹線道路を整備するとともに、大阪駅北側の駅前広場を新設</p> <p>○完成した京阪中之島線の新駅と一体となって、地区の回遊性を高めるため、新駅と民間ビルを接続する地下通路、歩行者専用道、中央緑道等の整備による快適な歩行者空間の充実・拡充 さらに、地下ネットワークを検討。併せて、水上交通基盤の整備を地域において検討</p> <p>○鉄道の整備に併せた公園の再整備、歩行者専用道等の整備による緑豊かな親水空間の創出</p> <p>○風格ある街並み形成、防災性の向上を図るため、御堂筋沿道における歩道と一体となった敷地内の歩行者空間の確保</p>	<p>○大阪駅周辺においては、大阪の顔にふさわしい建築物等の意匠や形態についての配慮など、風格ある景観形成に資する都市開発事業を促進</p> <p>○地域で共有できる大規模災害発生時の行動に関するルールの策定等、ソフト対策を公民連携で推進</p> <p>○水辺空間の利用や水辺景観に配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○ブランドストリートとして、御堂筋の賑わいを創出するなど、公民連携による御堂筋の多面的な利活用</p>

		<p>この際、防災性の向上とゆとりとうるおいある都市空間形成のため、建築物の耐震化や建築物の壁面後退部分の歩行者空間を整備。なお、風格ある市街地形成の観点から、淀屋橋から心齋橋までの間においては、風俗関連施設の立地を制限</p> <p>○御堂筋の周辺においては、御堂筋沿道と連携した業務・商業機能、文化機能、居住機能等を充実</p>	<p>○ギャラリー・ホールなどの文化施設等の導入</p> <p>○親水性を確保するための道頓堀川的环境整備</p>	<p>○大阪のメインストリートにふさわしい風格あるまちなみの形成を図るため、御堂筋に面した建築物については、壁面の位置などまちなみの連続感に配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○道頓堀川沿川については、水辺を活用した都市開発事業を促進</p> <p>○ミナミ及びその周辺地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により魅力ある繁華街の再生を促進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>国内外の都市に通じる我が国を代表するターミナルを有し、美しく風格あるまちなみや豊かなみどり・水辺空間が形成されているなかで、多様な都市機能が高度に集積する大阪駅周辺、中之島、御堂筋周辺において、大阪、関西のみならず国土の発展、成長をけん引する国際競争力を備えた拠点を形成</p> <p>このため、国際レベルの人材・企業の活動の受け皿となり、これを支える空間・基盤を整備するとともに、この地域に集まる多様な人々の交流を通じ、新たな価値・情報・文化等を創出する知的創造拠点機能を強化</p> <p>また、海外の人々を惹き付ける文化機能を整備するとともに、大阪・関西の観光魅力の一層の向上に向けたインバウンド機能、海外からの来訪者の</p>	<p>（大阪駅周辺）</p> <p>○国内外の交通の要衝地である特性を活かし、うめきた地区、大阪駅及び大阪駅南側地区において、道路上空の建築敷地としての活用などにより海外企業の誘致に向けた環境整備につながる都市開発等を促し、国際的な中枢拠点機能等の集積をさらに促進</p> <p>○うめきた先行開発区域では、上記機能の集積や立地特性を生かし、「感性」と「技術」が融合し新たな知的価値の創出をめざす知的創造拠点ナレッジキャピタルを形成</p> <p>○うめきた2期区域では、斬新で魅力ある都市空間を創出し、防災機能を備えた「みどり」を軸としたまちづくりをめざすとともに、我が国に新たな国際競争力を獲得させるイノベーションを生み出し、大阪・関西の発展を牽引し、国の成長に寄与</p>	<p>○国際競争力の向上を図るため、アジアを始めとする世界のゲートウェイである関西国際空港へのアクセス性向上を目的とするJR東海道線支線地下化と新駅設置の推進、及びなにわ筋線の整備について検討</p> <p>○うめきた地区では、土地の高度利用と合わせ、緑化やオープンスペースの積極的な導入による良好な都市環境を創出</p> <p>○大阪駅周辺における回遊性を高めるため、南北連絡通路等の整備や、道路上空の建築敷地としての活用による重層的な歩行者空間の充実など、歩車分離を基本とした快適な歩行者空間を形成</p>	<p>○大阪駅周辺では、国際的な中枢拠点到にふさわしく、環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営をめざし、先進的な新・省エネルギー技術等の導入、地下街等の防災性の向上、大規模災害時の帰宅困難者対策やBCPへの対応、及びエリアマネジメントを推進</p> <p>○うめきた2期区域では、未利用エネルギーや再生可能エネルギー、蓄電池等を利用し、環境負荷が少なく、地区全体でエネルギーの融通・相互利用や需給抑制などを行うエネルギーマネジメントシステムの構築を推進</p>

増大に向けたMICE機能を強化
さらに、国際ビジネス、学術、
創造などの高次な都市機能を
担う人材が、快適に居住でき
るよう、ハイグレードなレジ
デンス機能を強化するととも
に、これを支える生活利便施
設を導入

○都市開発にあわせて、大規模災
害時における滞在者や従業員等
のターミナルへの集中による混
乱回避や一斉帰宅の抑制につな
がる一時退避施設等の都市防災
機能を整備促進

(中之島)

○これまでの業務・文化・MICE機
能の集積に加え、新美術館の整
備を核に、未利用地の土地利用
転換を図り、ハイエンド人材の
育成に資する大学等の高等教育
施設を導入するなど、これらが
連携・調和し相乗効果を発揮す
るまちづくりを実現

○あわせて、都市型MICE機能、国
際学校、レジデンス等の導入な
ど国際ビジネスサポート機能の
拡充につながる都市開発を促進
し、国際的な業務・文化・学術・
交流拠点を形成

(御堂筋周辺)

○御堂筋沿道での高さ制限の規
制緩和等により、高規格オフィ
スの実現など業務機能の高度化
や、ビジネスサポート機能とし
ての高級賃貸レジデンスの導入
など、多様な機能をあわせ持つ
国際レベルのビジネス地区を形
成

○また、心齋橋エリアでは、イン
バウンド機能が充実した先進的
商業空間を創出し、周辺と一体
となった世界の観光拠点を形成

○中之島四丁目での新美術館の
整備により、既存の国立国際美
術館・市立科学館とのミュージ
アムトライアングルを形成し、
国際的な文化・芸術機能を強化

○国際競争力の向上を図るため、
関西国際空港や新大阪駅への
アクセス性向上を目的とする
なにわ筋線の整備を検討

○御堂筋周辺を大阪の顔にふさ
わしい世界的なブランドスト
リートとして魅力を向上させ
るため、道路空間を再編し、御
堂筋に面する壁面後退部分と
一体となった、歩行者が楽しみ
ながら安心して歩くことがで
きる空間を形成

○国際的な業務・文化・学術・交流拠
点にふさわしく、環境や安全・安心に
配慮した持続的なまちの運営をめざ
し、河川水を利用した地域冷暖房シ
ステム等の先進的な新・省エネルギ
ー技術の導入や、帰宅困難者対策等
の防災対策、エリアマネジメントを
推進

○御堂筋沿道の淀屋橋から本町までの
区間で、業務機能を軸としつつ、上質
なにぎわいが調和するビジネスゾ
ーンを形成するため、高さ制限の規制
緩和等をしつつ、御堂筋に面した壁
面の連続性や50mの軒線の強調を図
り、低層部に店舗・文化施設の導入を
誘導するなど、世界的なブランドス
トリートとしてまちなみに配慮した
都市開発事業を促進

○土地の有効高度利用を進めるため、
敷地の共同化を図り、まとまった規
模の開発を誘導する大街区化を推進

				<p>し、国際水準の高規格なオフィス機能や商業機能を導入するなど拠点的な整備を促進</p> <p>○環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営を目指し、新たなエネルギーシステムの構築、防災対策、エリアマネジメントを推進</p>
--	--	--	--	--